

## 給与所得者の方

⇒ 給与天引き以外に住民税を納めている方は、次の「給与所得者以外の方」を参考にしてください。

平成●年度 紹介する市町村（区）民税・道府県（都）民税特別徴収税額の決定・変更通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

特別徵収税額⑧を  
「住民税」欄へ記入

## 給与所得者以外の方

⇒ 平成●年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税税額決定・納税通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

市町村民税・道府県民税 税額決定 納税 通知書			
第	号	納 税 者	住 所
平成	00 年度	氏 名	
普 通 税	市 町 村 民 税 道 府 県 民 税	千	円
1 市町村民税及び道府県民税決定の明細			
均 区	分	課 税	
均	等 得 金	額 (1)	
総 所 得 金	額 (2)		
山 体 得 金	額 (3)		
退 職 所 得 金	額 (4)		
小 計	(2)+(3)+(4)	(5)	
所 短期譲渡 9 % 調用 分 (6)			
分離課税の所 得 金 額 短期譲渡 5 % 調用 分 (7)			
税 額 (9) 良住宅地等に係る譲渡 (8)			
得 金 額 居住用財産の譲渡 (10)			
株式等の譲渡 (11) 公開 (11)			
割 上場 株式等の配当 (12) (12)			
利 物 取引 (14) (14)			
内 用 牛 の 売却価額 (15) (15)			
小 計 (5)+(6)+(7)+(8)+(9)+(10)+(11)+(12)+(13)+(14)+(15) (16)			
調 整 控 除 領額 (17) (17)			
配 当 控 除 領額 (19) (19)			
住 宅 借 入 金 等 特 别 税 額 控 除 領額 (21) (21)			
寄 附 金 税 額 控 除 領額 (23) (23)			
外 国 税 額 控 除 領額 等 (25) (25)			
配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除額 (26) (26)			
合 計 (26)-(27) (27)			
市町村民税及び道府県民税の合計税額 (1)+(28) (29)			円
給付から特別徴収の方針によって徴収する額の合計額 (30)			
公的年金からの賦課課題額 (31)			

通知書の項目記載例：

「住民税額計」  
 「年税額」  
 「市町村（区）民税、  
 道府県（都）民税の合計税額」  
 「普通徴収と特別徴収の合計額」

記載されている額を  
**『住民税』欄へ記入**

#### 【金額記入の注意】

**【金額記入の注意】**  
千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「〇千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問37

平成●年分の社会保険料の支払いはありましたか。

医療保険（短期掛金）・年金保険（長期掛金）・介護保険・雇用保険のうち、ひとつでも支払いのあったときには、1に○をつけ、支払った金額も記入してください。ひとつも支払いがなかったときには、2に○をつけてください。

※ 保険料は、実際に支払った方が記入してください。

1 支払いあり

2 支払いなし

支払いのない方は、  
22ページにお進み  
ください。

●昨年1年間に支払った社会保険料の総額を記入してください。

記入のしかたは、19ページの【『社会保険料の総額』の記入のしかた】より、「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

社会保険料の総額

01

--	--	--	--

万

--

千円

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。

千 百 十 -

●支払った保険料の内訳を記入してください。

記入のしかたは、19ページの【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】より「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

内 訳

医療保険

(短期掛金)

02

--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 -

年金保険

(長期掛金)

03

--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 -

介護保険

04

--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 -

雇用保険

05

--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 -

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

#### 【『社会保険料の総額』の記入のしかた】

## 給与所得者の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

**持** 源泉徴収票 [原本又は写し] ⇒ 参考資料①

## 確定申告書 [控] → 參考資料②

# 住民税の納税通知書

⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方

⇒ 20ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

## 給与所得者以外の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

## 確定申告書 [控]

→ 參考資料②

## 住民税の納税通知書

#### ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方

⇒ 20ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

**【注意】** 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。

參考資料①

## 給与所得者の方

⇒ 平成●年分 紙と電子の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

## 『社会保険料の総額』 欄へ記入

參考資料②

## 給与所得者の方

## 給与所得者以外の方

⇒ 平成●年分の所得税の確定申告書【控】を参考にしてください。

### 【金額記入の注意】

**【金額記入の注意】** 千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、  
500~1,499円は「1千円」)

## 【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】

### 給与所得者の方

給与明細書をお持ちですか。

〔給与から天引きされていない方は、右の「給与所得者以外の方」から選んでください。〕

1年分を持っている方

⇒ 月々（ボーナス分を含む。）の給与明細書から、社会保険料の種類ごとに1年分の金額を合計して記入してください。

1年分は持つていらない方が  
1か月分を持つていらない方が

18ページの『社会保険料の総額』を記入した方

⇒ 計算式A

18ページの『社会保険料の総額』を記入していない方

⇒ 計算式B

### 給与所得者以外の方

保険料は、どのような方法で納付されましたか。

口座振替 又は 納付書（普通徴収）で納付された方

⇒ 納入（税）通知書又は各納付書から、国民健康保険料（税）、国民年金保険料、介護保険料の1年分の金額を記入してください。

公的年金から天引き（特別徴収）で納付された方

⇒ 参考資料③

年金振込通知書等から、医療保険料、介護保険料の1年分の金額を計算してください。

- 【注意】**
- 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。
  - 40歳以上の方で、医療保険と介護保険の区別ができない場合は、医療保険にまとめて記入してください。
  - 「厚生年金基金」の支払いは年金保険に含めますが、「国民年金基金」、「農業者年金」の支払いは、22ページの質問7「企業年金・個人年金等」に含めてください。

### 参考資料③

### 給与所得者以外の方

#### ②年金振込通知書

平成 年 月 日

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれます。  
なお、お支払いは平成 年 月から平成 年 月までの各偶数月に行われます。（裏面②の支払予定日をご参照ください。）

年金の種類 年金

年金証書の基礎年金番号・年金コード

受給権者氏名

振込先

「年金支払額」及び「年金から特別徴収する保険料等」の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
	円
所得税額	円
個人住民税額	円
控除後振込額	円

厚生労働省  
官署支出官 厚生労働省年金局事業企画課長



介護保険料額	円
	円

以下のいずれかが印字  
「国保保険料（税）額」  
「後期高齢者医療保険料額」  
「\*\*\*\*\*」

- 介護保険料額  
⇒ 『介護保険』欄へ記入

- 国保保険料（税）額 又は  
後期高齢者医療保険料

⇒ 『医療保険』欄へ記入

※ 平成25年1年分の金額を記入してください。  
年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

## 計算式A

『社会保険料の総額』を記入した方

- ## ① 給与明細から転記

$$(1) 1 \text{か月分の} \\ \text{「医療保険料」} \left( \quad \right) \text{円} \times (6) \left( \quad \right) = \text{医療保険} \\ \text{(短期掛金)} 02 \boxed{\quad} \text{円}$$

(2) 1か月分の  
「年金保険料」  
(長期掛金)  円 × (6) = 年金保険  
(長期掛金) 03  円

(3) 1か月分の  
「介護保険料」( ) 円 × (6)( ) = 介護保険 04 [ ] 円

(4) 1か月分の  
「雇用保険料」( ) 円 × (6)( ) = 雇用保険 05 [ ] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で11ページに記入してください。

- 2

(5) 『社会保険料の総額』  
※10ページに記入した額と同じ金額

社会保険料  
の総額 01

(1)～(4)を合計し、千円未満は四捨五入

## 小数点第2位 を四捨五入

$$\text{千円} \div \boxed{\phantom{000}} \quad \text{千円} = (6) \boxed{\phantom{0}}$$

## 計算式B

『社会保険料の総額』を記入していない方

- 1

給与の月数 (回数) ( ) □

+ ボーナス月数( )回  
(1年分のボーナスが給与の  
何ヶ月に相当するか)

= (1)

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で18ページに記入してください。

- 2

$$(2) \text{1か月分の} \\ \text{「医療保険料」} \left( \quad \right) \text{円} \times (1) \left( \quad \right) = \\ \text{医療保険} \\ \text{(短期掛金)} \quad 02 \boxed{\quad} \text{円}$$

$$(3) 1 \text{か月分の} \\ 「\text{年金保険料}」 \left( \quad \right) \text{円} \times (1) \left( \quad \right) = \\ \text{年金保険} \\ (\text{長期掛金}) \ 03 \boxed{\quad} \text{円}$$

(4) 1か月分の〔 〕円 × (1)〔 〕 = 介護保険 04 [ ] 円

$$(5) 1 \text{か月分の} \left[ \begin{array}{c} \text{「雇用保険料」} \\ \hline \end{array} \right] \text{円} \times (1) \left[ \begin{array}{c} \text{ } \\ \hline \end{array} \right] = \text{雇用保険} \quad 05 \quad \boxed{\hspace{1cm}} \text{円}$$

- 3

計算した『02 医療保険（短期掛金）』から『05 雇用保険』の合計を千円単位で記入

## 社会保険料 の総額

01

千円 ※ 18ページの『01 社会保険料の総額』欄へ  
忘れずに記入してください。

質問38

平成●年度の固定資産税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、  
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

固定資産税

				万	千円
--	--	--	--	---	----

千 百 十 一

2 課税なし

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

※ 個人所有の土地・家屋（事業関係分は除く。）に対する税額です。

土地・家屋の名義人か否かにかかわらず、**実際に支払った方**が記入してください。

【参考書類】平成25年度 固定資産税・都市計画税通知書

質問39

平成●年分の企業年金・個人年金等の掛金を  
支払いましたか。

あてはまる番号に○をつけ、  
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 支払いあり

企業年金・個人年金等

				万	千円
--	--	--	--	---	----

千 百 十 一

2 支払いなし

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

※ 掛金は、**実際に支払った方**が記入してください。

【企業年金の例】確定給付企業年金・確定拠出年金（企業型）などの**本人拠出分**

【個人年金の例】生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金や年金型商品

【その他の】国民年金基金、農業者年金、確定拠出年金（個人型）

ご記入ありがとうございました。